

ラブリーアースの山林 ～ 3年目の間伐 自然林の復活 ～

手遅れ人工林を強度間伐し、間伐材の有効活用も追求しながら、自然林復元あるいは針広混交林＝植林された針葉樹（ヒノキ・スギ）と自然更新の広葉樹が混ざった森林をめざしています。9月末から少しずつでも確実に、山林の景色を変えてきました。



西向き斜面 中段より下は林道へ集積



上部は一旦伐り置き



緩斜面上部にできた「広場」 自然林と人工林の境界

左側（斜面上）はハウノキやタカノツメの落葉樹とソヨゴ・サカキ・アセビなどの常緑樹が混ざる自然林 右側（斜面下）は40年生のヒノキ人工林



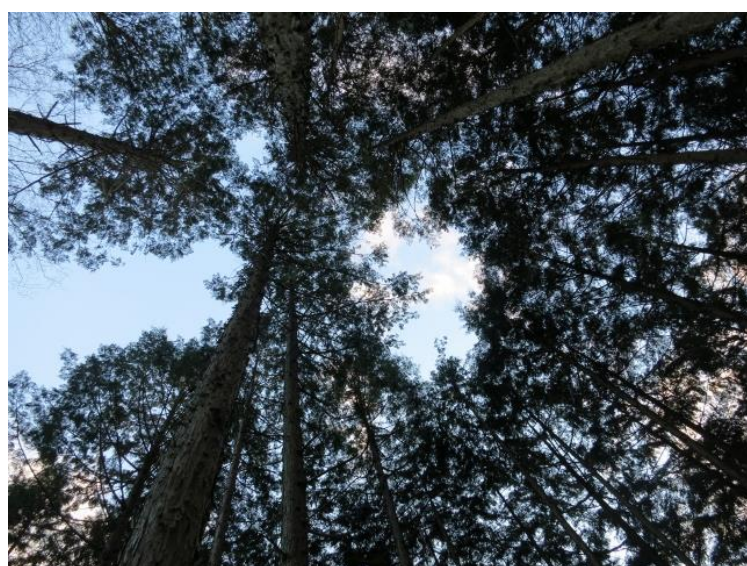
谷の向こうの山容や、未だ手つかずの北向き
斜面の暗い様子が見えるようになりました。



間伐を進めて発見した、一世代前の
ヒノキ（推定 60 年以上）。枝張り良く
風格が違います。そのころは枝打ちや
間伐など手入れもされていたようです。
何本かあるようです。周りの木を伐り、
大事に残してしていこうと思います。



急斜面の下に林道と駐車スペース



樹冠が大きく空いて
太陽の光が地面まで
届くようになります。

来年、春になったら
どんな植物の芽が
顔を見せてくれるか
楽しみです。